

第112号

令和5年3月3日

発行：八戸市立江陽中学校

PTA広報委員会

八戸市江陽1丁目 1-33

電話：43-1434

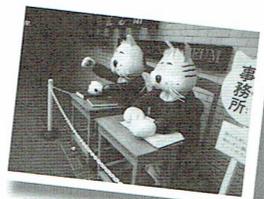
若葉

「今ある学びを」

三年 佐々木 陽奏

コロナ感染拡大防止のため、行先が東京から東北方面へと変更された。だが、コロナ禍の中でも行けることに感謝し、限られた条件の中でも学び、楽しむと、生徒一人一人が自覚をもちすばらしい二泊三日を過ごせた。世界文化遺産平泉では、歴史や文化を体感し、仙台うみの杜水族館や八木山ベニーランドでは、可愛い動物たちを友達と楽しむことができた。行った場所全てに感動があり、班長としての集団行動におけるリーダーシップも学ぶことができた日々だった。東北の魅力を再発見する修学旅行になった。

感謝の心を忘れず、この体験で感じたことを生かし、次は合格への道のりを共に全員で進んでいこう。



「普段しなかった係の仕事」

三年 田村 和真

本来なら関東方面に行くはずの修学旅行でした。しかし、岩手・宮城に変更になりました。僕は悔しかったです。でも、行ってみると様々な貴重な経験をして初めてのこともたくさんしました。場所に訪れることも楽しかったけれど、それと同じくらい印象に残る経験をしました。それは班長、部屋長の仕事です。普段、班長の仕事をしなかったのが初めての経験でした。コロナの影響もあり自主研修がありませんでしたが、その場所によっては班行動がありました。みんなに気を配り、まとめることの難しさや大変さなどを学びました。

今回の初めての色々な経験を忘れずに、これからも頑張りたいです。



「たゆたえども沈まず」

江陽中学校校長 富 樫 克 輝

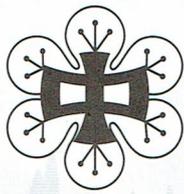
八戸市の市章をご存知かと思えます。「八戸」の二文字と旧南部藩の「向鶴の紋」が図案化されたものです。また、本校の校章は、雪の結晶の図案の中央に宝槌（縁起の良い打ち出の小槌）を模して中学校の中の字を重ねたものです。こうしたシンボルマークは、古今東西の国や団体の歴史や人々の願い、思いが込められて制定されています。

ここで、フランスの首都パリの市章について紹介しようと思えます。市内のあちらこちらに掲げられているパリの紋章は、城壁の冠の下に真っ赤な海原を行く帆船という図案。そしてラテン語で FLUCTVAT NEC MERGITVR という言葉が添えられています。それを日本語に訳したのがこの原稿のタイトルです。

「たゆたう」とは船が大波にもまれて大きく揺さぶられる様子を意味します。幾多の戦乱や困難に遭って、それでもなおしたたかに生き延びて歴史を刻んできたパリとパリ市民の紋章。どんなに大波に翻弄されようとも、決して沈まず、耐えて、堪えて（もちこたえて）あきらめない、という決意ともいえます。本校を巣立つ生徒たちにも多くの試験が待ち受けているでしょう。けれども、苦難に遭ってどれほど揺れることがあろうとも踏ん張って、人生の航路を進んでいってほしいと願っています。



フランス パリ市章



江陽中学校章



八戸市章

2年生盛岡自主研修



1年生校外学習(種差)



編集後記

「わかば」一一二号を発行するにあたり、記事作成、写真提供など、快く寄稿をお引き受けくださいました教職員の皆様、そして保護者の皆様に心より感謝しております。

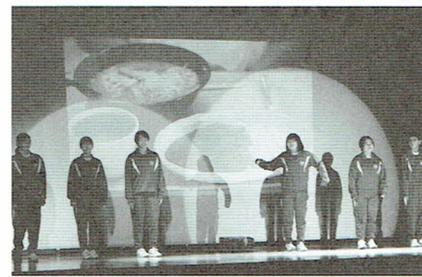
今後も子供たちの成長と安全を見守り、広報をお届けしたいと思いますので、ご協力よろしく願います。

(広報委員会 三年P)

1 学年ステージ



2 学年ステージ



全校合唱 「地球星歌～笑顔のために～」



江陽中学校

change the future ～光を放て～

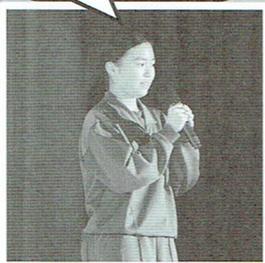
展示（総合文化部）



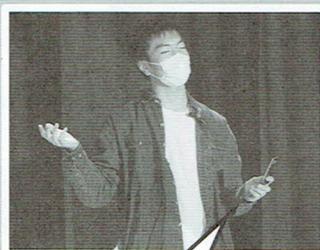
10月23日(日)文化祭が行われました。どの
揮し、仲間とともに素晴らしいステージを創り
は観客席も設けることができ、保護者の方々に
くことができ本当に良かったです。3年生にと
事でした。特に、今年度の3年生は入学時から
でもあります。多くの経験をしながら仲間と助
からは、一致団結して受験という壁を乗り越え
いってほしいと願っています。

後夜祭

声まね



歌



コント



ダンス



マジック

落語



ージ



3 学年ステージ
演劇「グッバイ・マイ」



文化祭

re

若き息吹～



吹奏楽ステージ



今年もこれまでの練習の成果を発
げることができました。今年度
も生徒たちの頑張りをご覧いた
っては集大成ともいえる大きな行
事型コロナに翻弄されてきた学年
も乗り越えてきました。これ
輝かしい未来に向かって歩んで

生徒会 感謝のセレモニー



後夜祭の後に、これまで生徒会役員として江陽中を引っ張ってくれた3年生への感謝のセレモニーを行いました。3人それぞれが思いの丈や感謝の気持ちを語り、感動的なセレモニーとなりました。

結葉さん、那緒さん、卓真くん、今までありがとう!!

